

ステロイド療法適応 COVID-19 肺炎における治療開始時血糖管理介入の試みに関する研究

1. 研究の対象

2020年4月～2023年2月にCOVID-19肺炎を主病名とした入院患者のうち、治療目的で入院期間中にステロイドが投与された患者さん

2. 研究目的・方法

酸素投与を必要とする中等症以上のCOVID-19肺炎の薬物療法として他薬剤と併用したステロイド療法が確立しています。一方治療目的のステロイド投与により34.56%に糖尿病の発症が報告されています（ステロイド糖尿病）。当院では入院されたCOVID-19肺炎の患者さんにステロイド治療を行う際、予測される耐糖能（血糖値を正常に戻す力）異常について、治療開始時から糖尿病・内分泌内科が介入し、ステロイド糖尿病につき指導を行うようにしました。これにより、血糖上昇を予防する、血糖が上昇した際に早期に対応することができ、その結果合併症を予防し、肺炎の治療にも貢献することで入院期間の短縮がはかれたのではと考えています。対象となる患者のカルテのデータを解析して、この試みが効果的であったかを確認します。

研究期間は病院長許可日から2024年3月31日です。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

カルテから得られる以下の情報：

- ・患者背景：性別、年齢、身長、体重、入院期間、既往疾患、使用したステロイドの種類・投与量・投与期間、ステロイド以外の治療薬
- ・血液生化学検査：Na、Ca、Cl、P、AST、ALT、ALP、 γ -GTP、LDH、BUN、クレアチニン、血糖(空腹時 随時)、HbA1c
- ・肺炎重症度：酸素投与の経過、転帰、
- ・入院期間中のインスリン導入の有無、インスリン必要量、投与方法回数、他糖尿病薬の併用の有無 等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒 438-8550

静岡県 磐田市 大久保 512-3 磐田市立総合病院 糖尿病・内分泌内科

電話 0538-38-5000 FAX 0538-38-5050

研究責任者： 磐田市立総合病院 糖尿病・内分泌内科 飯野和美